

もみいだされるものと思われ、それには最近の海洋学や岩石磁気学の進歩によって明らかにされている大陸の漂移が関係していると思われる。Sesleriinae の分化の過程について、さらに古気候や古地理についての近年の研究の成果を参照して、考察を進めねばならないが、それには、Sesleriinae の含まれるウシノケグサ群の起原の時期、あるいは地中海地方の気候の変遷などの、関連する多くの考察が必要であるので、他の報文にまとめたのべる。なお、大陸漂移説に反対する議論は、植物地理に関する最近の論文にもあらわれているが、筆者には、それらは Wegener の漂移説に対してはなりたっても、現代の漂移説に対する反論とはならないように思われる。

Summary

Morphological features of *Erianthecium* and *Ammochloa* were compared, and it was pointed out that they are related in various characters, especially in pistils. The two genera seem to have had a common ancestor, although they are distributed in quite different areas and may have been divided at a comparatively old time.

引用文献

Arrillaga, B.R. 1958. Características histológicas de "*Erianthecium bulbosum*" ("Gramineae"). Rev. Arg. Agr. **25**: 85-88. De Wet, J. M. J. 1960. Chromosome numbers and some morphological attributes of various South African grasses. Amer. Jour. Bot. **47**: 44-49. Parodi, L. R. 1943. Gramineas austro-americanas nuevas o criticas II. Notas del Mus. La Plata **8**: 75-100. Stebbins, G.L. and B. Crampton. 1961. A suggested revision of the grass genera of temperate North America. Recent Advances in Botany **1**: 133-145. 館岡亜緒, 1962. イネ科の系統分類と外部形態 (1). 研究史. 植研 **37**: 333-343.

□ R.M. Schuster: **An annotated synopsis of the genera and subgenera of Lejeuneaceae. I. Introduction; annotated keys to subfamilies and genera.** Nova Hedwigia, Heft 9, p. 1-203. 1963. DM60.- Published by J. Cramer 694, Weinheim (Germany). Lejeuneaceae は主として熱帯地方に分布し、従来 75 属以上 (異名を除き)、約 1500 種が記載されている。この多数の taxa の大部分が今迄混乱のままに、或いは疑問種として放置されていた。著者は本科の亜属 (及び節) 以上の taxa を再検討して key の形式で分類し、オリジナルなシステムを作り上げ、更に多くの新知見を註解の形で発表した。著者は 6 亜科 (5 族を含む)、65 属、38 亜属を認めたが、このうち新亜科 4、新族 1、新属 4、新亜属 19、及び属又は節を亜属としたもの (comb. nov.) 8 が含まれている。今後更に吟味、訂正しなければならない点もあると考えられるが、著者に依って初めてこの大整理が敢行された次第である。苔類研究者の指針であり、必読の書として推奨したい。(服部新佐)